（別紙６）

栃木県における認定鳥獣捕獲等事業者等の育成に係る評価報告

１　認定鳥獣捕獲等事業者等の現状や課題等

栃木県で認定され、県内全域で活動できる認定鳥獣捕獲等事業者は（一社）栃木県猟友会の１者のみであり、指定管理鳥獣対策事業を推進するためには、認定鳥獣捕獲等事業者及びその従事者の確保及び育成を図る必要がある。

２　１の課題等に対応するため、本事業で実施する取組内容

実施時期	1　講習会の開催 ① 認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者を対象とした研修 令和７年７月～10 月 ② 狩猟初心者を対象とした研修 令和７年 11 月～１月（全６回） 2　認定鳥獣捕獲等事業者制度の周知（チラシ配布） 令和７年５月～配布
場所	1　講習会の開催 ①認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者を対象とした研修 栃木県ライフル射撃場、栃木県林業大学校 ② 狩猟初心者を対象とした研修 栃木県内 2　認定鳥獣捕獲等事業者制度の周知 栃木県内
目的	1　講習会の開催 ① 認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者を対象とした研修 捕獲従事者の技能及び知識の維持向上を支援 ② 狩猟初心者を対象とした研修 狩猟初心者の技術向上を支援 2　認定鳥獣捕獲等事業者制度の周知 認定鳥獣捕獲等事業者制度を周知するチラシの作成・配布による制度の普及啓発及び認定を目指す事業者の支援
対象者・講師 （人数も記載）	1　講習会の開催 ① 認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者を対象とした研修 対象者：認定鳥獣捕獲等事業者及びその従事者になろうとする者 講　師：（一社）栃木県猟友会（予定） 人　数：（座学）全４回　延べ 200 名程度 （実技）全５回　延べ 150 名程度 ② 狩猟初心者を対象とした研修 対象者：新規に狩猟免許を取得した者 講　師：（一社）栃木県猟友会

	人　数：全６回　延べ 80 名程度 2　認定鳥獣捕獲等事業者制度の周知 対　象：栃木県内
内容	1　講習会 ① 認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者を対象とした研修 （座学）安全管理講習、技能及び知識、普通救命救急、科学的・計画的な野生動物の管理　他 （実技）ライフル及びスラッグの射撃研修 ② 狩猟初心者を対象とした研修 わな猟及び銃猟を実施するにあたっての基本的な技術や法規制、マナー等に係る研修 2　認定鳥獣捕獲等事業者制度の周知 「認定鳥獣捕獲等事業者制度のお知らせ」により制度概要、相談窓口の周知
方法	1　講習会の開催 ①認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者を対象とした研修 （一社）栃木県猟友会への委託 ②狩猟初心者を対象とした研修 （一社）栃木県猟友会への委託 2　認定鳥獣捕獲等事業者制度の周知 県内各環境森林事務所及び市町村、関係機関等に配布
評価方法	1　講習会の開催 ①認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者を対象とした研修 研修の受講者数及び県内の認定鳥獣捕獲等事業者数及び認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者数等から評価 ②狩猟初心者を対象とした研修 研修の受講者数及び県内の狩猟者数等から評価 2　認定鳥獣捕獲等事業者制度の周知 チラシの配布数及び県内の認定鳥獣捕獲等事業者数及び認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者数等から評価
事業費	1　講習会の開催 ①認定鳥獣捕獲等事業者の捕獲従事者を対象とした研修 1,463,000 円 ②狩猟初心者を対象とした研修 173,568 円 2　認定鳥獣捕獲等事業者制度の周知 74,470 円
備考	

注１：項目に沿って、実施した研修会等の具体的内容を記入すること。なお、「目的」には育成したい人材像も記入し、「評価方法」には目的や育成したい人材像に対する事業内容の適切性の検証方法や

事業効果の測定方法等を記入すること。

注２：事業終了後の評価結果では、各項目について、実施した結果を記入すること。

３　２の取組に対する評価と今後の課題等（事業終了後の評価結果時のみ記入）

認定鳥獣捕獲等事業者及び捕獲従事者のほか、狩猟初心者の技能、知識の向上を図ることができたが、認定鳥獣捕獲等事業者やその捕獲従事者の増加につなげるためには、継続的に取り組む必要がある。

注：１の課題及び２の各記載内容等も踏まえ、取組が適切に実施されたか、目的に対して効果があったか等の評価を具体的に記入すること。

また、評価を通じ明らかになった取組の改善点や今後の認定事業者の育成の課題等についても記入すること。

４　その他

注：特記すべき事項があれば記入すること。